

北本市地域公共交通計画 オープンハウス実施報告

1. 開催目的

地域公共交通計画の策定にあたって、計画の概要や市の現況、地域公共交通計画を策定する理由について市民に周知を行うとともに、計画検討にあたり参考となるご意見をいただくことを目的とする。

2. 開催結果

日時：令和8年9月26日（土） 10:00～14:00
開催場所：北本市役所 芝生広場（&green market）
来場者数：60名（アンケートの回答数を基に算出）

3. 開催概要

- ・地域公共交通計画の策定に向けて市民に周知を行うため、市の現況や今後の公共交通の方針などをまとめたパネルを展示し、スタッフが来場者に向けて説明を行った。
- ・市民からの意見収集を目的としたアンケートを実施した。

※市民からの意見収集は、アンケートパネルのあてはまる項目にシールを貼る形式で行った。
※住民の方に説明をする中で、公共交通に関するご意見や要望は随時記録した。

4. パネルの内容

看板



北本市地域公共交通計画 策定に向けた オープンハウス開催中！







アンケートにご回答いただいた方には粗品をプレゼント！
※数に限りがございますので、配布終了の際はご容赦ください

パネル1 (現況①)

北本市地域公共交通計画を策定します！

北本市の都市の現状や今後の公共交通のあり方に関するパネル展示を実施しています。
ぜひご覧いただき、みなさまのご意見をお聞かせください！

■北本市の現況と課題

公共交通の運行状況・利用者数

- ◆北本駅を中心にバス路線網が形成されています。
- ◆利用者数は、コロナ禍により大幅に減少したことも近年は増加傾向にありますが、コロナ禍前と比較すると減少している状況となっています。
- ◆また、今後人口が減少することにより、バス路線沿線でも人口の減少が見込まれています。

バス路線図

バス路線別の利用者数の推移

バス路線網人口密度の推移

上:2020年、下:2045年

今後起こりうること...

利用者の減少により公共交通の廃止や減便等が行われ、公共交通の利便性が低下する可能性があります。

⇒地域の貴重な資源である既存の路線バスを維持していくための取組が求められます。

パネル2 (現況②)

デマンドバスの利用者数・運賃収入

◆小学生や要介護者、免許返納者等を対象とした利用制度の拡充や市外の一部施設への運行範囲の拡大や利用料金の見直しを行い、近年は利用者数、運賃収入どちらも増加しています。

「デマンドバス」

- 運行形態:目的地域をドアツードアで運行
- 利用可能な目的地:指定の目的地(市内の病院・駅・公共施設・商業施設など)
- 市外は埼玉県東松山駅(南口)、埼玉県神保町(南松山駅)のバス
- 運行時間:8時30分～17時30分(年中無休)
- 利用対象者:誰でも利用可(市内居住・在勤・在学)
- 運賃:500円

今後起こりうること...

高齢者の交通弱者及び交通不便地域住民の移動手段を確保することを目的としてデマンドバスを運行しています。人口密度の低下により交通不便地域の拡大が懸念されます。

⇒利用者増加に向けた利便性と、効率的運行のための乗合率の向上が求められます。

公共交通を取り巻く社会の変化

◆今後の公共交通に関する取組として、近年では地域の住民が運転手を担い、買い物や病院などへの通達を行う地域の支え合いによる移動サービスの運行が行われています。

「らくだ号(飯能市吉野地区)」

- 運行形態:設定した場所を巡回コース型運行
- 運転手:ボランティア
- 利用可能な目的地:概ね吉野地区から片道25km圏内
- 運行時間:9:00～16:00(平日のみ)
- 利用対象者:吉野地区の住民
- 運賃:300円

今後起こりうること...

高齢者の増加による交通弱者の増加や運転手不足によるバス路線の減便、廃止が行われることが想定されます。

⇒市販ニーズや社会情勢を踏まえて地域の支え合いによる移動サービスの新たな交通手段の検討が求められています。

様々な課題に対処し、持続可能な公共交通を実現するために
地域公共交通計画を策定します！

パネル3 (計画の概要)

■地域公共交通計画とは

「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」と、それを実現する具体的な施策・目標・実施体制を定める地域交通のマスタープランとなる計画です。

■北本市で策定する目的

- ◆通勤・通学・通院・買い物といった日常生活の移動手段の確保が大きな課題
- ◆運転免許返納の自主返納が進み、自家用自動車を運転できない高齢者等の移動手段としての公共交通の重要性が増大
- ◆少子高齢化の進展や人々のライフスタイルの変化による公共交通利用者の減少
- ◆移動需要の減少、交通事業者の赤字の拡大・経営の悪化、それに伴う路線廃止によるサービス水準の低下により、さらに利用が減少する「負のスパイラル」への懸念

地域公共交通に関する取組を計画的に進め、限られた資源を有効活用し、持続可能な地域公共交通の形成を図る

■検討スケジュール

令和8年	令和9年
現状分析	地域公共交通計画策定
市民アンケート	パブリックコメント
重要者ヒアリング	地域公共交通計画策定
オープンハウス	
その他	

今ココ！

庁内検討委員会

パネル4 (構成・将来像)

■北本市地域公共交通計画の構成(案)

序章 計画概要	計画の概要、役割・趣旨、位置づけ、計画区域、計画期間等を示します。
第1章 現状・課題	都市の現状と課題を示します。
第2章 将来都市像	都市が目指す将来都市像を示します。
第3章 目標・基本方針	将来都市像を実現するための基本方針と基本目標を示します。
第4章 目標達成のための施策・事業	基本目標を達成するための具体的な施策、実施主体、事業スケジュール等を示します。
第5章 進行計画	計画の達成状況を測る評価方法・時期、位置付けた事業の推進体制を示します。

■目指すべき将来都市像(案)

持続可能な都市づくりを目指して、コンパクトネットワークの取組を立地適正化計画と連携して行っていく計画であるため、将来都市像については立地適正化計画で定めているものを本計画でも踏襲します。

「将来都市像」

緑にかこまれた健康な文化都市
～利便性の高い都市形成と公共交通ネットワークの連携による暮らしやすい北本～

「将来都市構造図(北本市立地適正化計画)」

中心拠点:本市の中心的な拠点として、公共交通の利便性を高め、都市機能の集約・充実を図ります。

公共交通:都市部や中心拠点、中心と居住機能とを結ぶとして、鉄道・バス等の公共交通ネットワークの確保を図ります。

公共交通補完:通勤圏や居住圏を結ぶバスなど、公共交通ネットワークの補完を図ります。

パネル5 (アンケート①)

■アンケート

Q. 路線バスの利用状況について1つ選び、シールを貼ってください。

路線バスを月に数回以上利用する	
ほぼ利用しない・利用しない	

Q. 上の質問で「ほぼ利用しない・利用しない」と回答した方はお答えください。
利用しない理由について3つ選び、シールを貼ってください。

希望する目的地へ行くバスがないから	
利用する時刻にバスが通っていないから	
運行本数が少ないから	
自宅の近くにバス停がないから	
運賃が高いから	
目的地までの所要時間が長いから	
自家用車(送迎含む)で移動するので必要ないから	
徒歩、自転車(バイク)で移動するので必要ないから	
送迎バスを利用するので必要ないから	
その他	

パネル6 (アンケート②)

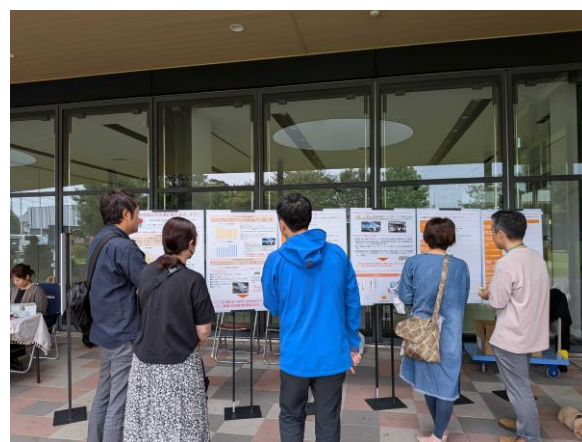
■アンケート

Q. 今後の公共交通に関する取組として重要なものを3つ選び、シールを貼ってください。

	公共交通に関する取組
鉄道の維持、利便性向上に対する支援	
路線バスの維持、利便性向上に対する支援	
タクシーの維持、利便性向上に対する支援	
デマンドバスの維持、利便性向上	
コミュニティバスの運行	
タクシー利用者の補助	
民間送迎バス、福祉送迎などの確保	
シェアサイクルの活用、サイクルポートの設置、自転車走行ネットワークの整備	
自動運転の導入検討	
地域や住民相互による送迎ボランティア(互助輸送)の推進、支援	
安心安全な歩行環境の整備	
道路整備や交差点改良	
その他	

ご回答いただき、ありがとうございました

5. 当日の開催のようす



6. アンケート・自由意見結果

アンケート①-1：路線バスの利用状況について1つ選択

	回答数	割合
路線バスを月に数回以上利用する	4	6.7%
ほぼ利用しない・利用しない	56	93.3%
合計	60	100.0%

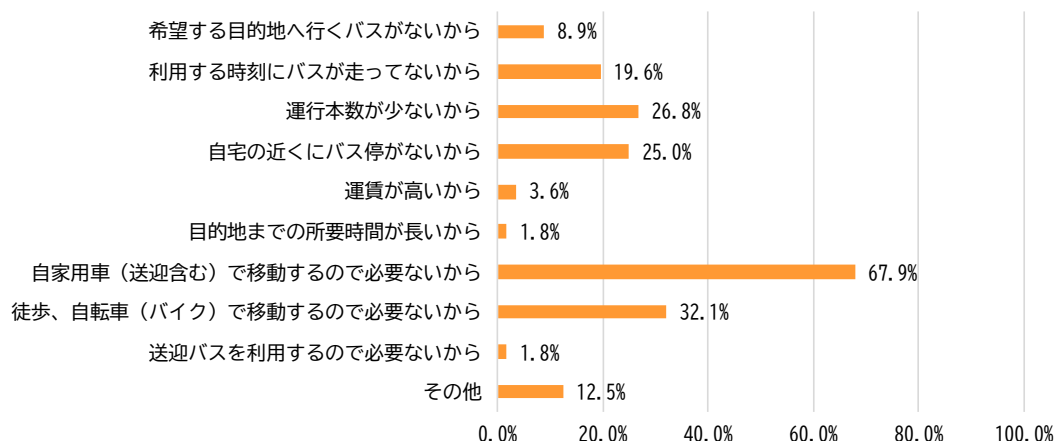
アンケート①-2：「①-1」で利用しないと回答した方の利用しない理由について3つ選択

	回答数	割合	順位
希望する目的地へ行くバスがないから	5	8.9%	7
利用する時刻にバスが走ってないから	11	19.6%	5
運行本数が少ないから	15	26.8%	3
自宅の近くにバス停がないから	14	25.0%	4
運賃が高いから	2	3.6%	8
目的地までの所要時間が長いから	1	1.8%	9
自家用車（送迎含む）で移動するので必要ないから	38	67.9%	1
徒歩、自転車（バイク）で移動するので必要ないから	18	32.1%	2
送迎バスを利用するので必要ないから	1	1.8%	9
その他	7	12.5%	6
合計	112		
回答者	56	100.0%	

割合については、回答者に占めるものであり、足し合わせても100%にならない

※その他の回答

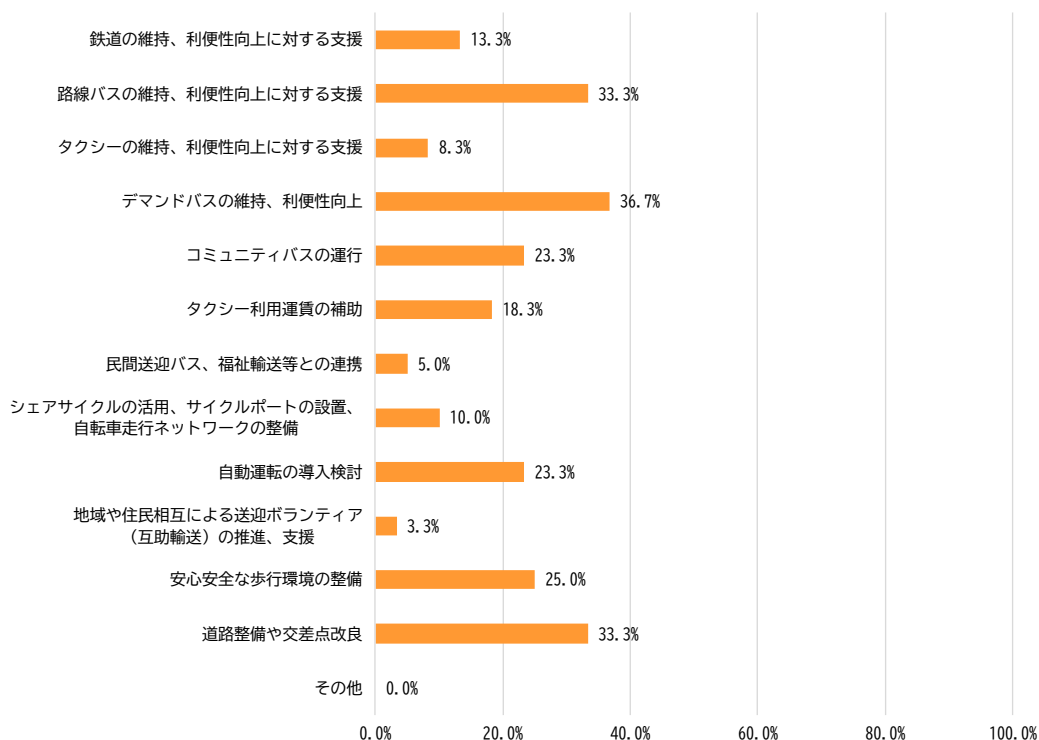
- ・バスが少ない
- ・地域性



アンケート②：.今後の公共交通に関する取組として重要なものを3つ選択

分類	回答数	割合	順位
鉄道の維持、利便性向上に対する支援	8	13.3%	8
路線バスの維持、利便性向上に対する支援	20	33.3%	2
タクシーの維持、利便性向上に対する支援	5	8.3%	10
デマンドバスの維持、利便性向上	22	36.7%	1
コミュニティバスの運行	14	23.3%	5
タクシー利用運賃の補助	11	18.3%	7
民間送迎バス、福祉輸送等との連携	3	5.0%	11
シェアサイクルの活用、サイクルポートの設置、自転車走行ネットワークの整備	6	10.0%	9
自動運転の導入検討	14	23.3%	5
地域や住民相互による送迎ボランティア（互助輸送）の推進、支援	2	3.3%	12
安心安全な歩行環境の整備	15	25.0%	4
道路整備や交差点改良	20	33.3%	2
その他	0	0.0%	13
合計	140		
回答者	60	100.0%	

割合については、回答者に占めるものであり、足し合わせても100%にならない



【自由意見】

<路線バスに関する事>

- ・バスの本数が減って残念
- ・バスの路線図の見方分からない
- ・上尾市より北本市の方がルートが難しい
- ・乗り場まで不便

<デマンドバスに関する事>

- ・デマンドバスの使い方がよくわからない
- ・帰りの時間が分からないので予約が取りにくい

<新たな公共交通に関する事>

- ・コミュニティバスを駅の代替になるように運行させる
- ・タクシーの自動運転
- ・自動運転タクシーが必要
- ・学童までの移動手段があるとよい
- ・ボランティア+事故保障で新たな公共交通を導入する
- ・

<その他>

- ・道路整備、歩道のひび
- ・市民の声を反映させた計画づくりをお願いしたい